今号のご案内
記事 三重県誕生150周年記念事業 ブルーインパルス展示飛行… P3
記事 飲酒運転の根絶をめざして！ …… P3
連載 みえの地産地消 …… P3

県政だより
令和8年（2026）No.508
三重県広報紙
毎月1日 発行／毎月第1日曜日 新聞折込

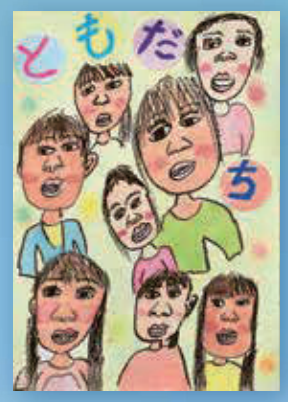
みえ 11月号

特集

差別や偏見のない三重をめざして









Anniversary 30th
Mie Prefectural Human Rights Center
三重県人権センター マスコットキャラクター 「ミッコロ」

県人権センターは今年で開設30周年です。
これからも差別のない社会の実現に向けて取り組んでいきます！









県内小・中・高等学校などの児童・生徒の皆さんが描いた令和8年度「人権」に関するポスター優秀作品（一部）

注目情報

11月は伊勢茶に親しむ月間です

伊勢茶に親しむ暮らしをもっと身近に

歴史と伝統ある伊勢茶。その伊勢茶に暮らしの中でさらに親しんでもらえるよう、令和8年4月1日に「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例」が施行されました。条例に基づき、伊勢茶に触れる機会を広げるイベントなどを開催しています。ぜひご参加いただき、伊勢茶をお楽しみください。

条例について詳しくはこちら



伊勢茶イメージキャラクター
茶柱タツ

観覧自由

第3回 Ise Cha Promotion Award（イセ チャ プロモーション アワード）

次世代を担う若者に伊勢茶の魅力を広く知ってもらえるよう、高校生が伊勢茶を楽しむアイデアを発表するコンテストを開催します。



日時 11月7日（土）11時～14時　場所 VISON内イベントドーム

飲んで！食べて！もっと、伊勢茶。キャンペーン2026

県内外の約160店舗の飲食店で「伊勢茶」を使った料理やスイーツが味わえます。スタンプラリーやフォトキャンペーンも実施します。



実施期間 令和9年1月24日（日）まで

伊勢茶まつり

伊勢茶の魅力を発信し、消費拡大につなげるイベント「第78回関西茶業振興大会 茶消費拡大イベント 伊勢茶まつり」を開催します。

試飲や体験を通じてお茶の魅力を楽しむことができるイベントです。



日時 11月14日（土）10時～16時
場所 VISON

問い合わせ先 農林水産部 農産園芸課 TEL 059・224・2543 FAX 059・223・1120 nousan@pref.mie.lg.jp

キーワードを本紙から探して
県産品を当てよう！

11月11日～12月10日は ？ をなくす強調月間です

正解者の中から抽選で5人に
マルシェグランマの商品詰め合わせと三重県誕生150周年記念グッズをプレゼント！

応募方法 応募は1人1回限り
次のいずれかでご応募ください。

■「ハガキ」または「メール」の場合
下記①～⑦を明記の上、ご応募ください。
①？に当てはまるキーワード ②本号で印象に残った記事の感想、役に立った情報、今後掲載して欲しいと思うテーマなど ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦県政だよりの入手先
［宛先］〒514-8570（住所不要）
三重県広聴広報課
「県政だより11月号プレゼント」係
dayori@pref.mie.lg.jp
（プレゼント応募専用メールアドレス）

■「応募フォーム」の場合
右記の二次元コードよりご応募ください。

応募締切 令和8年11月30日（月）到着分

※当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。個人情報は賞品発送および読者層の調査以外には使用いたしません。

＼ 県政情報をいろいろな方法でお届けしています ／

動画コンテンツも配信
WEB版「県政だよりみえ」



カタログポケット
自動翻訳・読み上げ機能

くふう.トクバイ
スマホアプリで閲覧

マチイロ
スマホアプリで閲覧

マイ広報紙
自治体広報紙を掲載

SNS
Face book
X

三重テレビ
■県政だより みえ
第3日曜 18時45分～
■再放送
①翌火曜 10時15分～
②翌月曜～金曜 8時～、16時45分～（第2チャンネル）
※祝日を除く

CBCテレビ
■よしお兄さんのもっと“みえ”推し！
（報道情報ワイド番組「チャント！」内）
水曜 16時30分ごろ～

FM三重
■三重県からのお知らせ
月曜～金曜 7時43分～
■聴いとこ！知っとこ！ 10min（テンミニッツ） みえ！
第1・3・5火曜 18時22分～

音声版・点字版・CD版 ご希望の方は、お問い合わせください。広聴広報課 TEL 059・224・2788

特集

差別をしない・させない・ゆるさない

国際連合総会で『世界人権宣言』が採択された12月10日は「世界人権デー」。県では、平成2年に全国に先駆けて県議会で「人権県宣言」を決議しました。これを契機に、毎年11月11日から12月10日までを「差別をなくす強調月間」とし、すべての県民の人権が尊重される社会の実現をめざして、啓発活動などに取り組んでいます。この機会に、皆さんも人権について考えてみませんか。

今年は、平成28年に「部落差別解消推進法」をはじめとする差別解消三法が施行されて10年を迎える節目の年。県では、差別解消の取り組みを進めるため、次の条例の制定・改正に取り組んでいます。

「部落差別解消条例（仮称）」の制定

【制定の背景】

部落差別に関する事象が減少していないことに加えて、『人権問題に関する三重県民意識調査』の結果に改善が見られない

➡部落差別の解消に特化した条例を新たに制定し、主に次の行為を禁止

- 部落差別
- 部落差別を助長・誘発する行為
- 部落差別につながる身元調査や土地調査



部落差別とは、昔の身分差別によって排除されてきた地域の出身であることなどを理由に、不当な取り扱いをすることであり、決して許されない行為です。

「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」の改正

【改正の背景】

令和4年に制定した条例に基づき、差別解消に向けた取り組みを進める中で、以下の課題が明らかになってきた

例）
- 深刻化するインターネット上の人権侵害への対応を強化する必要がある
- 差別などの紛争の解決に向けた調査・助言などの実効性を高める必要がある
- 県と市町の連携を強化する必要がある



➡主に次の内容を改正

- インターネット上の人権侵害に対し、県がプラットフォーム事業者へ削除の要請ができる規定を新設

「差別をなくす強調月間」を中心に、県内各地で街頭啓発や啓発イベントを実施します



■県民人権講座

部落解放・人権確立をめざした歩みと課題
～三重県人権センター開設30周年に寄せて～

参加無料

人権センター開設から30年、差別解消三法が施行されてから10年、その間の差別解消への動きを検証し、差別解消への課題を考えます。

日時　11月8日（日）　1部：講演／13時～14時30分
2部：映画「破戒」上映／14時45分～16時45分

会場　県人権センター 多目的ホール（津市一身田大古曽693-1）

講師　一般社団法人部落解放・人権研究所名誉理事 友永（ともなが） 健三（けんぞう）さん

その他、県・市町の取り組み詳細はこちら



条例について　問い合わせ先
環境生活部 人権課　TEL 059・224・2278　FAX 059・224・3069　jinken@pref.mie.lg.jp

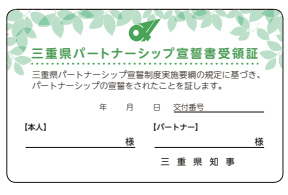
県民人権講座について　問い合わせ先
県人権センター　TEL 059・233・5501　FAX 059・233・5511　jinkenc@pref.mie.lg.jp

人権問題に関する相談は県人権センター 相談窓口へ
TEL 059・233・5500　※祝日・休日・年末年始を除く
月曜～金曜　9時～17時

ダイバーシティ社会の実現に向けて多様性を認め合える三重づくりに取り組んでいます

三重県パートナーシップ宣誓制度

互いを人生のパートナーとし、日常生活で相互に協力し合うことを宣誓した2人（一方または双方がLGBTQ等の当事者の方）に、県が宣誓書受領証などを交付します。



ウェブサイト

LGBTQ等コミュニティスペース

LGBTQ等当事者の方や、LGBTQ等かもしれないと思っている方、そのご家族や友人の方が、気軽に交流できるスペースを開設します。

日時　11月15日（日）14時～16時
場所　鈴鹿市内

要申し込み　参加無料　入退出自由

ウェブサイト

みえにじいろ相談 ～性の多様性に関する相談～

性の多様性に関するさまざまな悩みについて、ご本人だけでなく、ご家族や友人など周囲の方からの相談も受け付けています。（相談無料・秘密厳守）

電話相談
TEL 059・233・1134
毎月　第1日曜日　13時～19時
　　第3金曜日　14時～20時

SNS相談
毎月　第2金曜日　14時～20時
　　第4日曜日　13時～19時

ウェブサイト

LINE友だち追加

多文化共生社会づくり

国際化が進み、三重県に住む外国人が増えています。日本人と外国人が互いの生活習慣や文化の違いを認め合い、差別や偏見のない地域社会を共に築けるよう、県では、国際交流員派遣事業を実施しています。



国際交流員

【国際交流員による出前講座の主な内容】
- 母国の紹介（生活、文化、自然など）
- 国際交流体験（クイズ、遊び、ものづくり体験など）
- 人権や多文化共生に関する学習
- やさしい日本語の紹介（例：登校➡学校へ行く などの言い換え）

ウェブサイト

知事メッセージ

部落差別をなくしていきたいという強い思いで「部落差別解消条例（仮称）」の制定に向けて取り組んでいます。
一緒に、差別のない、人権が尊重される三重をつくっていきましょう。



三重県知事　一見 勝之

問い合わせ先
環境生活部 ダイバーシティ社会推進課
男女共同参画班　TEL 059・224・2225　FAX 059・224・3069　iris@pref.mie.lg.jp
多文化共生班　TEL 059・222・5974　FAX 059・222・5984　tabunka@pref.mie.lg.jp

11月11日～12月10日は差別をなくす強調月間です

記事

＼ 同じ青い空を見上げ、未来に向けた想いを一つに ／

三重県誕生 150 周年記念事業 ブルーインパルス展示飛行

航空自衛隊のブルーインパルスが、県内各地の上空を飛行します。展示飛行やパイロットとの交流イベントなどが実施されるほか、ブルーインパルスがスモークを発出しながら県内各地の上空を飛行し、三重県誕生150周年を祝して県全体を盛り上げてくれる特別な一日です。それぞれの場所で同じ青い空を見上げ、次の50年に向けた想いを一つにしましょう。

ブルーインパルス展示飛行



日程 12月20日（日）　場所 県内各地



※写真はイメージです

演目場所、飛行ルート、時間、悪天候による中止の判断などの詳細は、ブルーインパルスの特設ページで随時お知らせします。

ブルーインパルスの特設ページはこちら

これまで実施した主な記念事業の振り返り



4月

タイムカプセル披露式

50年前に埋設されたタイムカプセルを掘り起こし、収納品の披露や子どもたちの作文発表などを行いました。

5月

三重県誕生150周年記念式典

150年の歩みを振り返り、高校生の作文発表や藤波朱理（ふじなみあかり）選手（女子レスリング）のトークショーなどを行いました。





8月～

タイムカプセル収納物巡回展示

県各庁舎において、4月に掘り起こしたタイムカプセルの収納物の展示を行っています。最新情報は記念サイトをご確認ください。

記念サイトはこちら

問い合わせ先 政策企画部 企画課　TEL 059・224・2025　FAX 059・224・2069　mie150th@pref.mie.lg.jp

記事

＼ 飲酒運転をしない、させない、許さない ／

飲酒運転の根絶をめざして！

飲酒の機会が増える年末にかけて、飲酒運転が増加する傾向にあります。県では「三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例」に基づき、飲酒運転違反者にアルコール依存症に関する受診を義務づけるなど、飲酒運転根絶に向けた取り組みを進めています。

飲酒運転は、悪質・危険な犯罪です！



飲酒運転は、厳しい処分（刑事処分・行政処分）だけでなく、民事賠償や職場における処分などによって、違反者本人のみならず、その家族などにも大きな影響を与えるものです。しかしながら、県内では依然として飲酒運転違反や死亡事故が発生しています。

「飲酒運転をしない、させない、許さない」という強い意識を持ち、みんなで飲酒運転のない三重をめざしましょう。



＜飲酒運転とアルコール問題の相談窓口＞

飲酒運転をする恐れのある方やご家族からの相談に、専門相談員が対応します。

相談時間 月～木曜 9時～16時（祝日・年末年始除く）

電話番号 059・224・3101



三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例

毎年12月1日は

「三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動の日」です

県内各地で、飲酒運転防止のイベントや啓発活動を行っています。

飲酒運転0（ゼロ）をめざす啓発イベント



日程 12月1日（火）

場所 イオンモール津南1階 つどいの広場



漫才コンビ「バッテリィズ」寺家さん（津市出身）をお招きし、トークショーや交通安全クイズ、飲酒状態ゴーグル体験などを行う啓発イベントを開催します。詳細は、決まり次第、県ホームページでお知らせします。

「年末の交通安全県民運動」を実施します

期間 12月1日（火）～10日（木）の10日間

交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実施しましょう。

問い合わせ先 環境生活部 くらし・交通安全課　TEL 059・224・2410　FAX 059・224・3069　seikotu@pref.mie.lg.jp



“みえの安心食材”認定の農産物を出品 ごかつら池 ふるさと村内「マルシェグランマ」に行ってみよう！

みえの安心食材表示制度 詳しくはこちら

県では、環境に配慮し、生産者の顔が見える、安全・安心な方法で生産された野菜や米、果物などを認定する「人と自然にやさしい みえの安心食材表示制度」に取り組んでいます。

多気町の複合レジャー施設「ごかつら池 ふるさと村」内にある「マルシェグランマ」では、地元の生産者を中心に約300人の方が農産物などを出品しています。店頭には、旬を迎えた新鮮な野菜や果物が並び、「みえの安心食材」に認定された農産物も出品されています。

認定 みえの安心食材



県内のさまざまな地域から集まった新鮮な農産物との出会いを楽しめるのも魅力の一つ。ぜひ「みえの安心食材」の魅力を味わってみてください。

秋は柿が美味しい季節です。地元の食材を味わえるレストラン「マルシェグランマキッチン」も併設しています。旬の味覚を楽しみに、ぜひお越しください！



みえの安心食材「推し活」キャンペーン

「みえの安心食材」をPRするため、生産者や直売所、スーパーなどの協力により、プレゼントキャンペーンを実施します。この機会に、みえの安心食材をお買い求めいただき、ご応募ください。

実施期間 11月10日（火）～令和9年2月21日（日）（消印有効）

応募方法など詳しくはこちら

店舗情報

おばあちゃんの店 マルシェグランマ

TEL 0598・67・7420　営業時間 9時～17時

住所 多気郡多気町五桂956　休日 1月1日



問い合わせ先 農林水産部 フードイノベーション課　TEL 059・224・2395　FAX 059・224・2521　foods@pref.mie.lg.jp

編集・発行／三重県広聴広報課　「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。
〒514-8570（住所不要）TEL 059・224・2788 FAX 059・224・2032 koho@pref.mie.lg.jp
県庁電話案内（各課ご案内）TEL 059・224・3070

県庁における通話の録音

県職員へのカスハラ対策の一環として、通話録音の運用を開始しました。県にお電話いただいた際に、通話が録音される旨のアナウンスが流れ、その後に電話がつながります。ご理解とご協力をお願いします。

対象施設　本庁舎（栄町庁舎、勤労者福祉会館、合同ビル、吉田山会館の所属を含む）、全地域庁舎

問 総務部 人事課
TEL 059・224・2103　F 059・224・3170

三重県　通話録音　検索

お知らせ

県農業大学校一般入校試験（前期）

一般入校試験を実施します。詳細は募集要項をご確認ください。
日 12月11日（金）10時～　受 11月9日（月）～24日（火）（当日必着）
対 農業に関心のある高校生、社会人　三重県農業大学校学生募集　検索
問 県農業大学校 教務課　TEL 0598・42・1260　F 0598・42・5835

イベント

みえ地震・津波対策の日シンポジウム

新たな南海トラフ地震被害想定をテーマにしたシンポジウムを開催します。
日 12月6日（日）14時～17時（予定）　受 11月27日（金）まで
所 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス6号館 講義室　定 150人
問 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター　みえ地震・津波　シンポジウム　検索
TEL 059・231・5694　F 059・231・9954

東丸ノ内路地裏ミッション with VENCEDOR

子どもが地域や大人と直接関わりながら挑戦・学び・成功体験を得られる体験型イベントを開催します。
日 11月7日（土）～8日（日）9時～17時　受 申込不要
所 津市東丸之内周辺　定 200人
問 子ども・福祉部 少子化対策課　TEL 059・224・2057　F 059・224・2270
Instagram

令和8年度 獣害につよい三重づくりフォーラム

獣害対策についての事例紹介および展示会などを開催します。
日 12月19日（土）全体会・分科会：13時15分～16時（12時30分開場）、展示会：11時30分～15時
受 11月10日（火）まで　所 県総合文化センター 大ホール他
対 獣害対策に関心のある方　三重県　獣害　フォーラム　検索
問 農林水産部 獣害対策課　TEL 059・224・2017　F 059・224・3153

特集展示 ミニ館蔵品展

収蔵資料の中から、三重の先賢達を特集した展示を開催します。
日 11月23日（月・祝）まで　9時～17時
休 月曜（祝日の場合は翌平日）
所 県総合博物館3階 三重の実物図鑑　MieMu　ミニ館蔵品展　検索
問 県総合博物館（MieMu）　TEL 059・228・2283　F 059・229・8310


磯部百鱗 六歌仙図

講演会「気象予報士の仕事って？＆尾鷲の気象の特性」

気象キャスターの親見麗菜さんによる講演会を開催します。
日 11月28日（土）13時30分～15時　受 11月27日（金）まで
所 熊野古道センター 映像ホール　定 80人（先着）
問 県立熊野古道センター　熊野古道センター　イベント　検索
TEL 0597・25・2666　F 0597・25・2667

親見麗菜さん

相談窓口

女性つながるほっとライン

女性が抱えるさまざまな不安や悩みについて相談できます。
受 相談受付：毎日24時間　相談対応：月曜・木曜10時～14時、土曜9時～13時 ※祝日、年末年始を除く　女性つながるほっとライン　検索
対 県内在住のさまざまな不安や悩みを抱える女性

みえ性暴力被害者支援センター よりこ

性暴力の被害について電話や面接で相談できます。医療機関の紹介や警察への付添いなどの支援を行っています。
受 9時～17時 ※土日祝日・年末年始を除く　三重県　よりこ　検索
※上記時間以外の電話相談は夜間休日コールセンターにつながります

TEL #8891（はやく ワンストップ）
TEL 059・253・4115（よりこ）

凡例　日 日時・期間　受 受付・申込　休 休館日　所 場所　対 対象　定 定員　料 料金（マークのないものは原則無料）　問 問い合わせ先　TEL 電話　F FAX

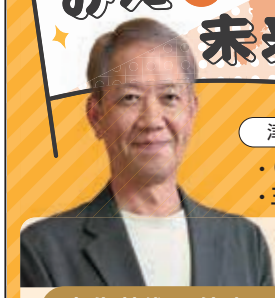
県の最新イベント情報などは、ここからチェック！
最新情報は、各ウェブサイト、問い合わせ先に確認をお願いします。
三重県　お知らせ イベント 相談窓口　検索

■11月号は、10月5日時点の情報に基づき作成しています。
■「県政だより みえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。

三重県の人口・世帯数　人　口／1,682,612人【対前月比1,014人減】（男性：822,629人　女性：859,983人）
世帯数／751,528世帯　（令和8年8月1日現在）

次号のお知らせ　12月号は12月6日（日）に新聞折込予定です。

一人ひとりの挑戦が、地域の元気に！
かがやき、つながる みえの未来



県の政策ピックアップ　指定管理者制度

公の施設の管理を民間の事業者や団体などに任せることで、その知識やノウハウを生かし、よりよいサービスの提供と効率的な運営をめざす制度です。現在、県総合文化センターでは、（公財）三重県文化振興事業団が指定管理者として施設を運営しています。
詳しくはこちら

津市　松浦 茂之（まつうら しげゆき）さん
・（公財）三重県文化振興事業団 参事
・三重県文化会館 副館長 兼 事業課長

四日市市生まれ。東京での銀行勤務などを経て三重県文化振興事業団へ。文化芸術を通じた地域づくりを推進。

文化の力で三重をもっと豊かに！

文化芸術の仕事を選んだきっかけは？

20代の時には東京で銀行や経営コンサル会社に勤めてビジネスの成功をめざしていたのですが、ハードワークに疲れて挫折を経験しました。その時に「せめて人の役に立つ仕事を」と三重に戻り、三重県文化会館の募集を見つけたことが現在の活動のきっかけです。最初の7年間は経営やサービスの改革に携わり、その後に演劇事業を担当しました。演劇は未経験でしたが、全国の劇場へ足を運んで学び、人脈をつくり、三重ならではの文化事業を模索しました。その中で、レストランで食事を楽しんだ後に名作文学のリーディング公演を鑑賞する『MPAD※』や、演劇を通して介護や老いを前向きに考える『介護を楽しむ 明るく老いる アートプロジェクト』、地域へ音楽を届ける『新日本フィル29市町巡回事業』といった、劇場の外へ文化芸術を届ける事業を立ち上げてきました。


介護を楽しむ 明るく老いる アートプロジェクト

仕事で大切にしていることは？

みんなが「オールハッピー」になっていることが一番ですね。自分自身がワクワクしながら準備し、お客様はもちろん、アーティストもスタッフも楽しめてこそ、長く続く事業になると思っています。『MPAD』が15年、『介護を楽しむ 明るく老いる アートプロジェクト』が9年続いているのも、関わる皆さんに「また参加したい」と思っていただけるからです。昨年、尾鷲市九鬼町でMPADを開催した時は、海を望む場所で美味しい食事や文学を楽しんでくださる地元の皆さんの姿を見て、「地域だからこそ味わえる豊かな時間がある」と強く感じることができました。全国どこへ行っても同じような便利さがある時代だからこそ、その土地ならではの自然や食、歴史、文化が地域の魅力になります。文化芸術も、その地域ならではの豊かな時間をつくる大切な存在だと思っています。


尾鷲市九鬼町で開催したMPADの一幕

これから挑戦したいと考えていることは？

三重は食べ物が美味しいですし、おもてなしの文化が根付いているので、県外から来られるアーティストにも、そうしたところに魅力を感じてもらっています。劇場を飛び出して各地へ出向くことで、これまで出会えなかった人や地域との新しいつながりが生まれることも、この仕事の大きな魅力です。これからは、そのつながりをさらに深め、文化芸術を福祉や教育、観光、経済など、さまざまな分野へ広げていきたいと思っています。

これから各地域で活動を支える人や団体がもっと増え、さらに文化芸術が暮らしの身近な存在になっていけばうれしいですね。文化芸術に触れていただくためにも、まずは一度ライブに足を運んで、現場でしか味わえない空気や感動をぜひ体験していただけたらと思います。


新日本フィル29市町巡回事業 四日市市での開催の様子

三重県文化会館 ウェブサイト

※MPAD（エムパッド）…MIE PERFORMING ARTS DINNER DINING DELICIOUS

行ってみよう！ みえのいいとこ

熊野市 熊野市紀和鉱山資料館



かつて日本屈指の鉱山があった熊野市紀和町。町と鉱山の歴史をリアルな模型と当時の鉱山器具などを使用して紹介しているユニークな資料館です。現地で発掘された国内最大級の蛍石の神秘的な輝きや、鉱石の重さを体感できるコーナーなど、楽しみながら鉱山の歴史を学ぶことができます。開館31周年を迎える紀和鉱山資料館に訪れてみませんか。

動画も見てね！

場所 熊野市紀和町板屋110-1
TEL 0597・97・1000

広告

一酸化炭素（無色、無臭）が室内に漏れ出し
死亡事故に至るおそれ

リコール対象製品を回収しています
お持ちではありませんか？



屋外に給排気筒があります

National　ナショナル　FF式石油暖房機

リコール対象製品（現物）をお引取りの際は、1台あたり
50,000円を
お支払いいたします

お心当たりがございましたら、下記フリーダイヤルまでご連絡をお願いいたします
0120-872-773
受付時間　9:00-17:00（土、日、祝日、弊社休日を除く）
パナソニック株式会社（旧社名：松下電器産業株式会社）奈良県大和郡山市筒井町800番地
品番確認はこちらから

広告

市役所・県職員・警察官・消防官・国家公務員・保育士など
公務員 2027年度（R9年度）受験　募集中!!

2026年11～3月コース　2027年4～9月コース

全日制コース　夜間特訓コース　土日集中コース

今、公務員をめざすチャンス！
①受験生減、募集増（26年前期松阪市40名津市20名採用!）
②教養試験減、SPI・BEST増
③1年に複数回受験可能（受験日がずれている）

11月入校特典
11月末までのお申込み特典　入学金 45,000円OFF　授業料 10%OFF
26年11～3月コース（27年4～9月コースをお申し込みの方）　授業料 70%OFF

2次対策（面接対策等）も充実！
・26年度前期 三重県警A 6名受験→6名全員最終合格
・25年度受験 三重県職員ABC 1次合格者11名中→2次受験者全員最終合格
津市（事務・消防・土木・調理員）→14名最終合格
・24年度受験 公安系志望（警察・消防など）現役学生→15名全員最終合格

説明会　個別制　土日 13:00～15:00　平日（月～金）16:00～18:00　※30分程度
□会場／当学院　□参加方法／お電話・メールでご予約ください



三重公務員学院
津市広明町364 魚伝ビル3F（津駅西口出てスグ）
☎059-224-8890
[E-mail] miekoumuin@wish.ocn.ne.jp　http://miekoumuin.net
ご参加できない方は、パンフレットを郵送します！

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。
なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ウィット（TEL 072・668・3275（代））までお問い合わせください。